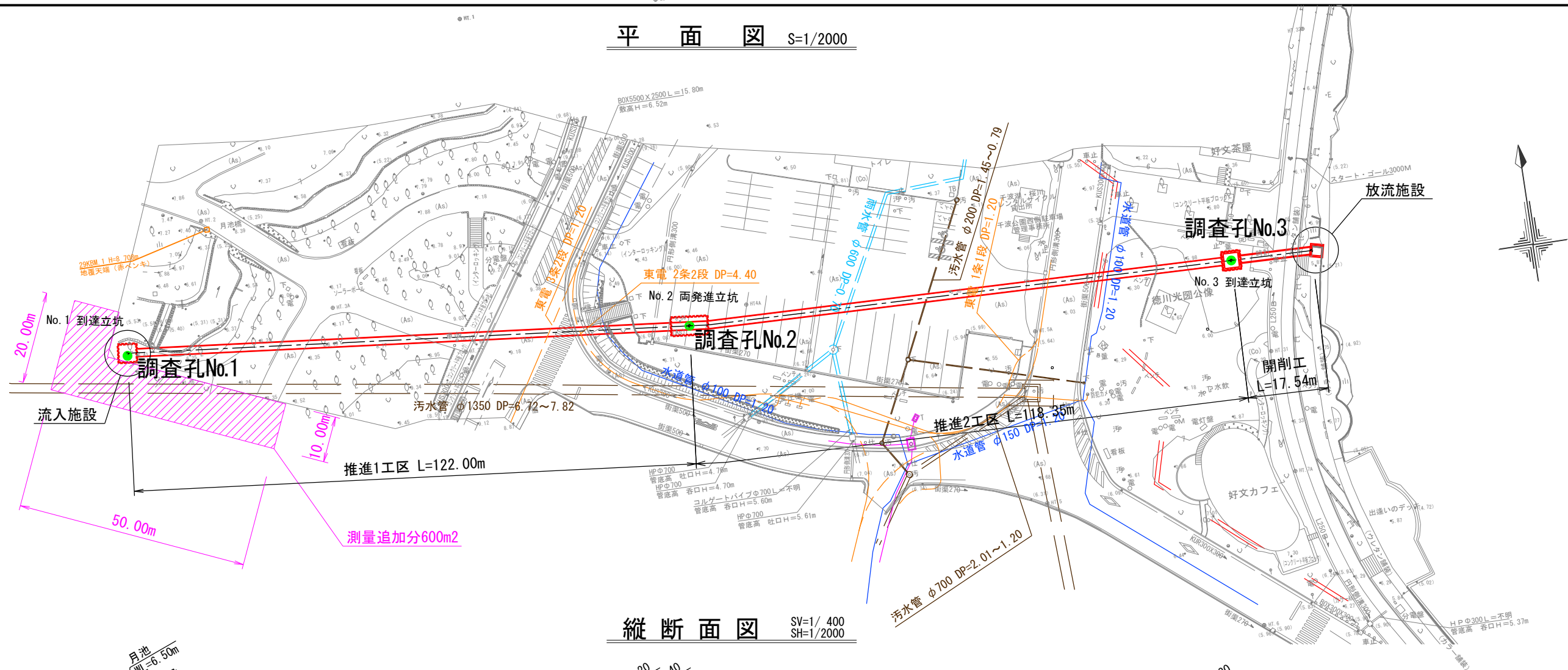
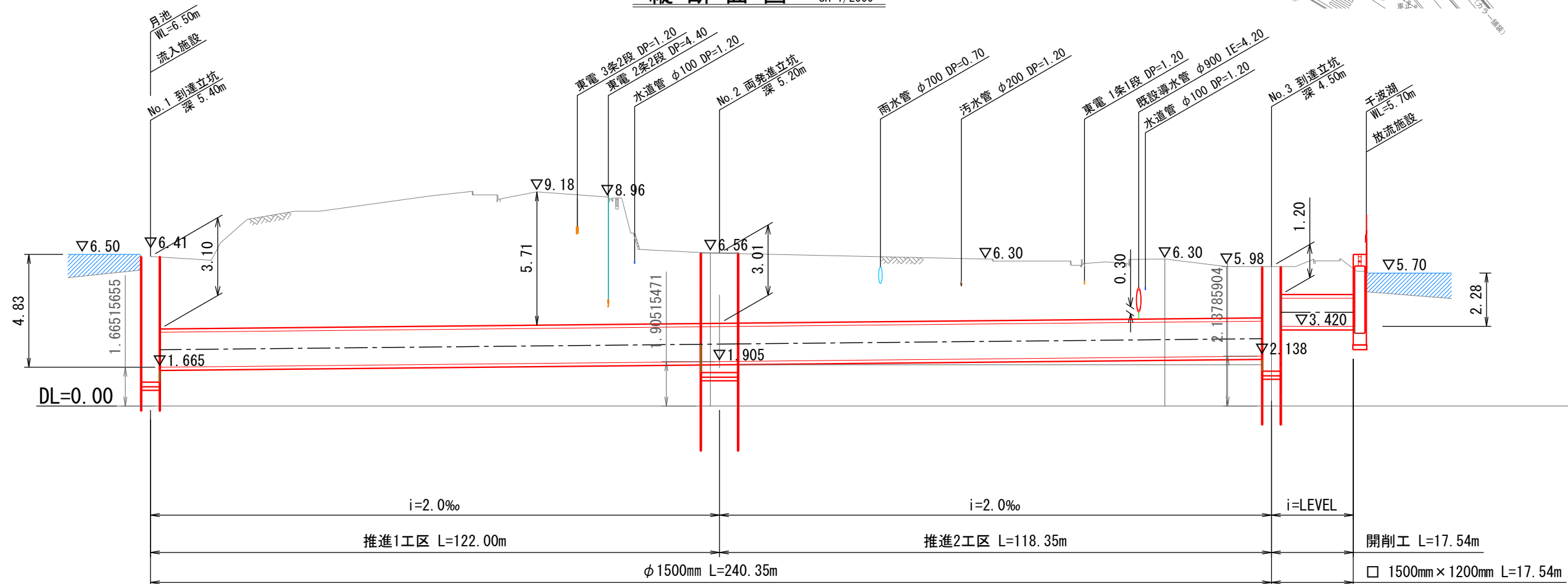


平面図 S=1/2000



縦断面図 SV=1/400 SH=1/2000



ボーリング柱状図

調査名千波湖導水施設整備地質調査委託

事業・工事名

ボーリングNo.54404346002

シートNo.2

ボーリング名	No.2	調査位置	茨城県水戸市千波町 地内	北緯	36° 22′ 15.0000″	
発注機関	水戸市 都市計画部 公園緑地課	千波湖管理室	調査期間	平成29年11月13日～平成29年11月14日	東経	140° 27′ 10.0000″
調査業者名	株式会社 高萩エンジニアリング 電話 0294-39-2312	主任技師	現場代理人	コ鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	KBM 6.60m	角	方	使用機種	ハンマー 半自動型	
総掘進長	13.20m	度	向	エンジン	ヤンマー-NFD12 GP-5	

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相対稠度	記	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準	貫入試験	原位置試験	試料採取	室内	掘進
m	m	m	m		度	事			10cm毎の 打撃回数	打撃回数／貫入量	深度 m	試験名 及び結果	試験番号	方法
1	4.90	1.70	1.70	盛土	暗灰	GL-0.10m付近まで、アスファルト以下、砕石からなる。GL-0.55m付近より、礫混り粘性土を主体とし、GL-0.80m～0.95m間、コンクリート片を主体とする。含水量中位。	11/13 1.00	1.15	3	2	7			
2				シルト	暗黒	含水量及び粘性度共に中位。極少量の有機物を混入する。		2.15	1	30	1			
3	3.60	1.30	3.00	シルト	暗黒	含水量及び粘性度共に中位。多くの有機物を混入する。砂は粒径不均一な細砂を主体とする。		2.45	3	0	0			
4	2.10	1.50	4.50	シルト	暗黒	含水量及び粘性度共に中位。少量の有機物を混入する。砂は粒径不均一な細砂を主体とする。		3.50	0	1	1			
5	0.85	1.25	5.75	シルト	暗黒	含水量及び粘性度共に中位。少量の有機物を混入する。砂は粒径不均一な細砂を主体とする。		4.00	0	1	1			
6	-0.10	0.95	6.70	礫混りシルト	灰	含水量非常に高位。シルトは単調からなる。礫はφ10mm以下の亜円・亜角礫で最大でφ50mmの角礫をシリングルコアチューブより採取される。又、全体に少量の砂分を混入する。		4.50	1	2	5			
7								5.45	7	17	31			
8								6.15	21	19	50			
9								6.45	20	22	50			
10				軟岩	暗緑灰	概ね新鮮な岩相を呈す砂質泥岩～泥岩からなる。GL-12.00mまで、砂質泥岩で、以下、泥岩からなる。シリングルコアチューブより採取されたコアの長さは短柱状（約8cm以下）コアとなる。採取されたコアの硬さはハンマー打撃にて容易に碎ける程度の硬さである。		7.15	10	23	50			
11								7.45	17	22	50			
12								8.00	11	17	50			
13	-6.60	6.50	13.20					8.23	28	15	50			
14								9.05	30	20	50			
15								9.26	20	30	50			
16								10.15	17	23	50			
17								10.44	17	22	50			
18								11.15	11	17	50			
19								11.43	28	15	50			
20								12.00	7	3	50			
21								12.23	20	30	50			
22								13.00	20	30	50			
23								13.20						

ボーリング柱状図

調査名千波湖導水施設整備地質調査委託

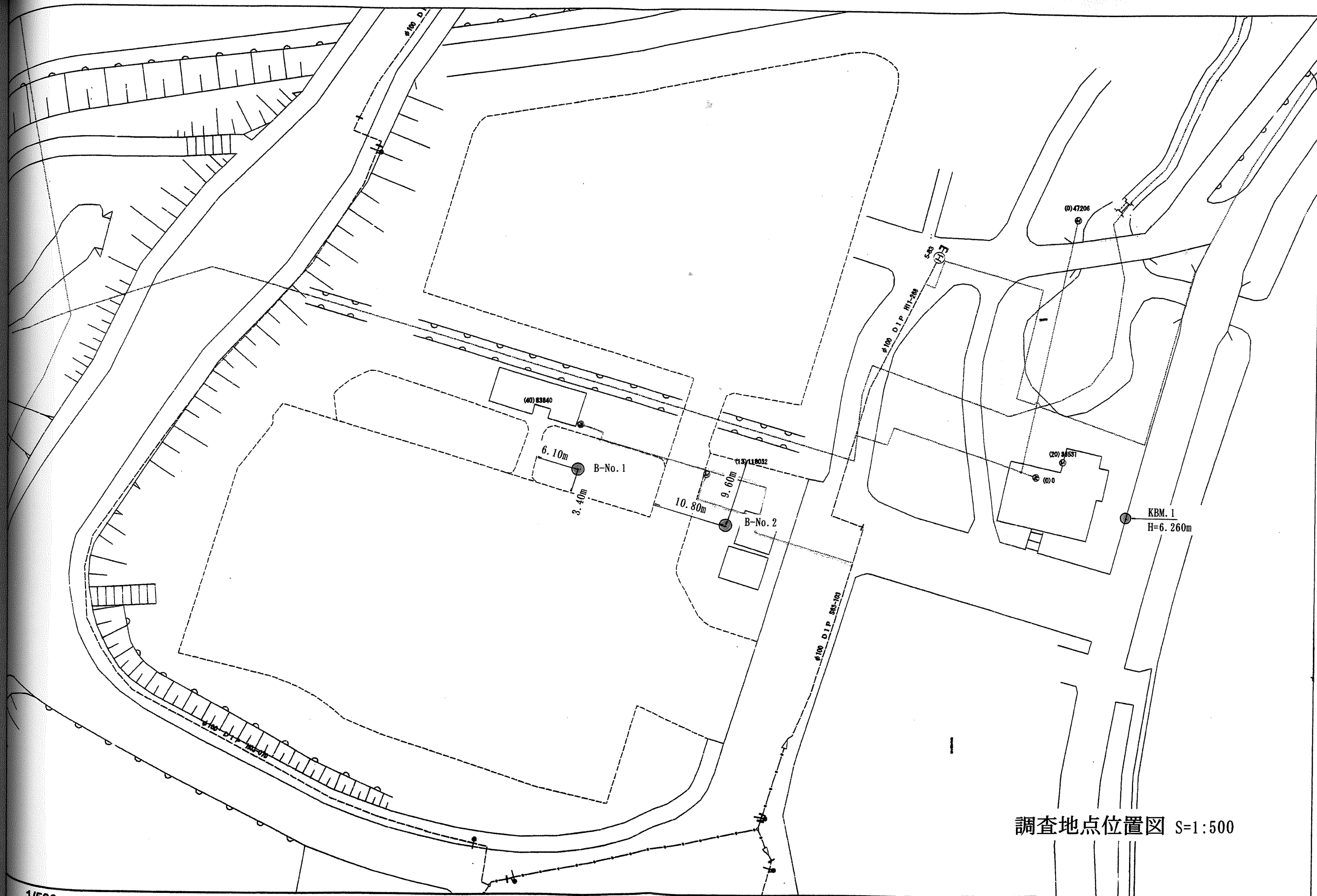
ボーリングNo.54404346003

事業・工事名

シートNo.3

ボーリング名	No.3	調査位置	茨城県水戸市千波町 地内
発注機関	水戸市 都市計画部 公園緑地課	千波湖管理室	調査期間平成29年11月 6日～平成29年11月 7日
調査業者名	株式会社 高萩エンジニアリング 電話 0294-39-2312	主任技師	現場代理人
孔口標高	KBM 6.01m	角	180°上 90°下 0°
総掘進長	15.50m	方	0°北 90°東 180°南 270°西
		地盤勾配	使用機種
			0° 水平 鉛直 90°
			試験機 YBM-05
			エンジン ヤンマーNFD12
			ポ ン プ
			ハンマ ー 半自動型
			落 下 用 具
			ボ ー リ ン グ 責 任 者

標尺	m	層厚	m	深度	m	柱状図	土質区分	色相対稠度	記	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準	貫入試験	原位置試験	試験採取	室内	掘進
1							埋土	暗黒	含水量中位～高位。軟岩層（泥岩）や礫を混じる砂質土を主体とする。GL-2.00m付近より、粘性土を主体とし、多くに有機物や砂を混入する。	11/ 6 1.00	深度	10cm毎の打撃回数	打撃回数／貫入量	値	試験及び結果	試験料番号	採取方法
2	3.71	2.30	2.30					暗褐灰			11/ 6 1.00	深度	0 10 20 30	0 20 30 40 50 60			
3								暗褐				深度	0 10 20 30 40 50 60				
4												深度	0 10 20 30 40 50 60				
5												深度	0 10 20 30 40 50 60				
6												深度	0 10 20 30 40 50 60				
7												深度	0 10 20 30 40 50 60				
8												深度	0 10 20 30 40 50 60				
9								暗黒	含水量中位、粘性度中位～高位。多くの有機物を混じるシルトからなる。シルトは単調。有機質土は全体に混在する。GL-12.00m付近より、色調灰色を混じり、やや色調の変化が見られる。			深度	0 10 20 30 40 50 60				
10												深度	0 10 20 30 40 50 60				
11												深度	0 10 20 30 40 50 60				
12												深度	0 10 20 30 40 50 60				
13												深度	0 10 20 30 40 50 60				
14												深度	0 10 20 30 40 50 60				
15	-0.49	13.20	15.50									深度	0 10 20 30 40 50 60				
16												深度	0 10 20 30 40 50 60				
17												深度	0 10 20 30 40 50 60				
18												深度	0 10 20 30 40 50 60				
19												深度	0 10 20 30 40 50 60				
20												深度	0 10 20 30 40 50 60				
21												深度	0 10 20 30 40 50 60				
22												深度	0 10 20 30 40 50 60				
23												深度	0 10 20 30 40 50 60				



調査地点位置図 S=1:500

